



河小だより

四日市市立河原田小学校

第5号 2018. 6. 4

★体力向上週間★



21日(月)から体力向上週間の取り組みが始まりました。自分で時間をつくって運動する習慣をつけていくことがねらいです。20分休みのチャイムがなると、全児童が外に出ました。子どもたちは、運動場にある鉄棒、登り棒、肋木、雲梯などを使って、思い思いに身体を動かしました。教師と一緒に遊ぶ中で、鉄棒や雲梯などの握力が自然に高まる運動などを積極的に進めたりします。

学校には、遊びの中で体力を向上させる環境がたくさんあります。体育の授業だけが、体力向上の場ではありません。子どもたちが、学校生活を楽しく過ごす中で、自然と体力が向上できることが理想です。体力向上週間での活動が、子どもたちに習慣化されることを願います。

教師と一緒に遊ぶと子どもの違った姿が見ることができるのも、この週間の良さです。

今年度の体力向上週間では、一輪車や竹馬で遊んでいる子どもたちの姿が多数ありました。今まで、あまり見なかった風景でしたので、少し情報を集めると、体力向上週間に、体育委員会の子どもたちが一緒に遊ぼう、と呼びかけたそうです。一輪車や竹馬はとてもいい運動です。例えば、一輪車は、足の筋肉を活発に運動させますので、酸素の消費量が多く、健康増進や体力づくりに最適です。加えて、反射神経や平衡感覚を養い、体力増強などに効果があります。バランスをとる過程が体幹トレーニングにもなります。体育委員会の子どもたちの活動が、たくさんの河原田っ子に、運動することの良さを知らしめるという結果をもたらしました。いい委員会活動です。体力向上週間だけでなく、是非遊びに一輪車や竹馬を取り入れ、楽しんでほしいと願っています。

★あいさつ運動★

朝、昇降口に児童会の子どもたちが並び、登校してきた子どもたちに「おはようございます」と挨拶をしていました。子どもによる子どものためのあいさつ運動です。児童会のあいさつ運動が始まったのは5月16日。もう半月が経ちますが、あいさつ運動は、まだ続いています。ずっと続いていることに値打ちを感じます。端的に、繰り返し、取り組んでいくことが、多くの人に定着させる方法の一つだと考えています。その意味でも、今回の児童会の取組は、値打ちある取組だと考えます。河原田っ子の多くが、挨拶ができるようになることを願っています。

この機会に、挨拶について考えてみたいと思います。「人に会ったら、挨拶をしましょう」とよく言われます。挨拶ができなくても、その人にとって大きな損害が生じることはありません。

それじゃ「なぜ？」挨拶をするの？

一つは、挨拶をすると「気持ちがいい」からです。

「挨拶してイヤな気持ちになった」こと、「挨拶されてイヤな気分になった」なんてことはあまりないでしょう。挨拶はするのもしれるのも気持ちがいいものなのです。

二つは、相手からの印象が良くなり、人間関係も良くなるからです。

誰かに挨拶をするということは、その相手を「認めている」ということです。認められていると感じれば、人は嬉しいものです。自分を認めてくれた人に対して好意的に接するようになります。

三つは、今すぐに始められるということです。

挨拶のすごいところは、簡単に始められてしまうところです。それに、日本には豊富な挨拶があります。「おはようございます。こんにちは、こんばんは。失礼します。さようなら。よろしく申し上げます。ただいま・・・」1日のうち、挨拶をする機会は何回でもあり、必要なものも何もありません。挨拶しようとする気持ちだけでいいのです。

挨拶することは、いいことばかりです。家庭でも、挨拶を話題にしていただき、学校・家庭・地域で挨拶できる「人」づくりを学校とともに進めていただければ幸いです。



★登下校時における児童の安全確保★

本校校区内において、「集団登校集合場所に不審者とみられる人がいた」「自動車に乗った人が声をかけてきた」といった事案の情報が寄せられています。

学校では、登下校指導において子どもの安全を確保するために通学路などの安全点検をしたり、子どもに危険箇所について注意喚起したりしています。また、防犯教室や定期的に登下校指導を実施し、放課後や休日に、犯罪や交通事故に巻き込まれないよう、子どもたちに危険予測・回避能力を身につけさせるための安全教育を行っています。しかし、これだけでは十分ではありません。どうぞ、時間に余裕があるときは、登下校時や放課後、見守りをお願いします。子どもの見守りと言ってもパトロールを、というわけではなく、皆さんが普段から行っている花の水やり、買い物、庭の掃除、犬の散歩のときなどに、子どもの様子を見守るという気持ちを持っていただくだけで結構なのです。大人の存在を不審者が意識するような行動が子どもの安全確保には功を奏します。

地域全体で子どもたちを見守る体制ができると幸いです。

★お願い★

本校では、一度帰宅をしなくても、保護者の責任のもと、下校時に学校から直接、習い事などに向かうことができます。そのため、時折、送迎時に学校の駐車場を待ち合わせ場所としている方が見えます。本校駐車場は、子どもたちの通学路にもなっています。無断で本校駐車場を利用することは遠慮ください。但し、学校が求めた場合や区域外通学など学校の許可を得て登下校をしている児童の送迎、放課後デイサービスや子どもたちの下校指導のための保護者の駐車などは認めています。ご承知ください。